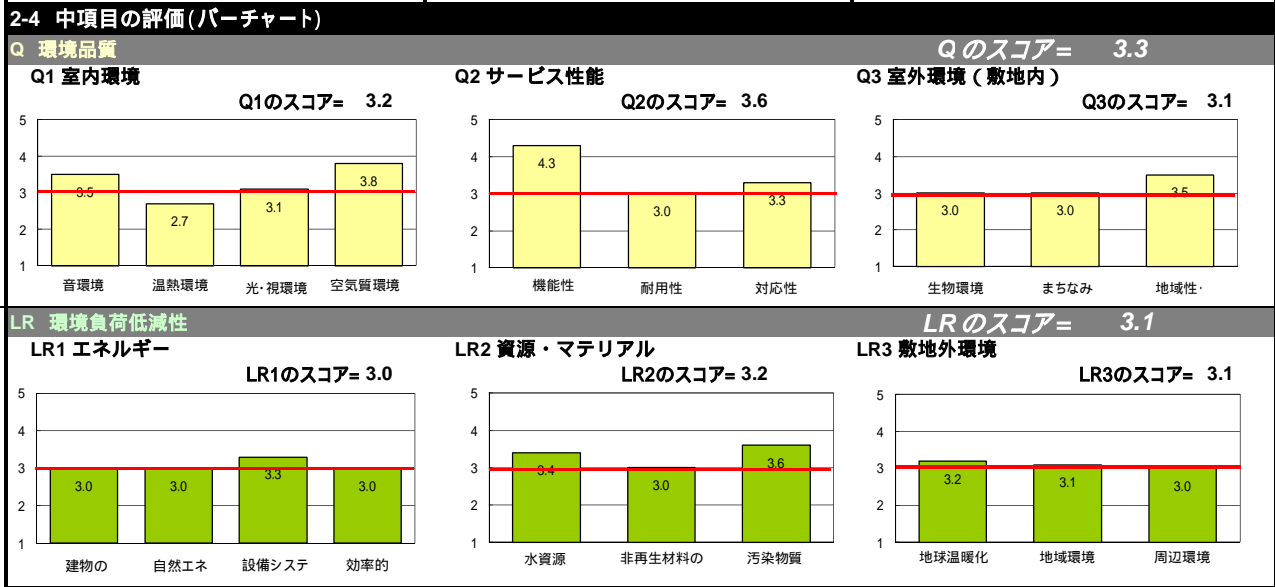
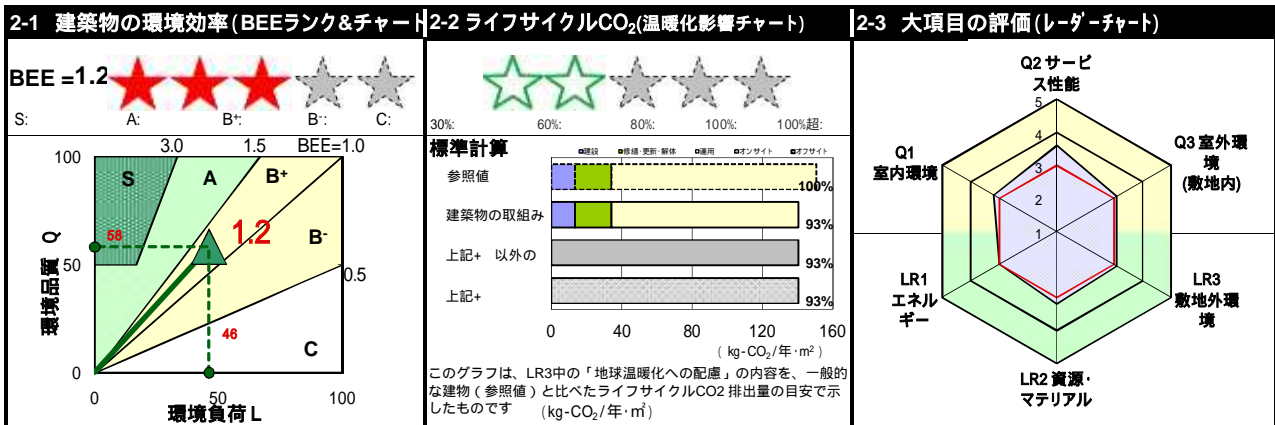


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コーポ・リハビリテーションセンター	階数	地上5F
建設地	藤沢市鶴沼神明3丁目583番1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2015年9月 予定	評価の実施日	2014年2月15日
敷地面積	2,412 m ²	作成者	株式会社 建築一家
建築面積	1,288 m ²	確認日	2014年2月15日
延床面積	4,686 m ²	確認者	株式会社 建築一家

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 ・地域に開かれた自然豊かな環境の中に、通所リハビリテーションを併設した介護老人保健施設を整備し、通所者及び入所者に対しては「癒しの環境づくり」をモットーにアメニティの確保、機能性・安全性・経済性などにも十分配慮し、更には母体である医療機関と連携した、介護老人保健施設とする。		その他 建設工事における廃棄物削減・リサイクルを積極的に行うとともに、敷地に面する河川、公園との自然調和に努める。
Q1 室内環境 ・各病室間の間仕切り壁には、グラスウールを充填した壁を採用し、音環境へ配慮している。 各室に空気調和設備と換気設備を設け、快適な居住空間への配慮をしている。	Q2 サービス性能 ・木を基調とした内装とし、落ち着いた空間としている。 ・外壁の仕上げ材は長寿命の耐候性塗料を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地面積の15%を緑化し、緑豊かな環境としている。 又、遊水地を設け、降雨時の水害対策へも配慮している。
LR1 エネルギー ・主な屋根を外断熱工法とする事で、建物躯体への熱負荷、空調負荷を低減し電気使用量の削減へ配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・内装材については全てF とし、シックハウス対策に配慮している。 ・その他仕様材料においては環境負荷の少ない材料を積極的に採用している。	LR3 敷地外環境 ・配置計画において、敷地境界線から十分な距離を確保することで、周辺住民に対しての日影の影響や屋上に設けた空調室外機の騒音に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される